



坂東地域アグリ通信

令和4年9月20日
坂東地域農業改良普及センター 発行
Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

「にじのきらめき」現地検討会を行いました

8月10日に、「にじのきらめき」現地検討会を開催し、生産者16名、関係機関27名の合計43名が参加しました。

県西地域では、イネ縞葉枯病による収量の低下が懸念されており、収量を安定させるためには「にじのきらめき」等のイネ縞葉枯病抵抗性品種の作付面積を拡大する必要があります。

はじめに、普及センターより、これまでの「にじのきらめき」の実証試験結果と、くず大豆を活用した増肥効果実証試験について説明を行いました。また、実証試験を行っている株式会社クローバー・ファームの高橋氏から、既存の品種と比較して優れている点などのお話をいただき、今後への期待がうかがえました。生産者は次年度の一般栽培に向けて、「にじのきらめき」の栽培性や収量性、施肥設計などについて、理解を深めることができました。

普及センターでは、引き続き管内の水稻生産の高品質安定化に向けた取り組みを支援していきます。



現地検討会の様子

水稻収穫後のイネ縞葉枯病の対策について

イネ縞葉枯病はヒメトビウンカによって媒介されるウイルス病であり、一度発病すると治療方法はありません。

収穫後のひこばえ（再生稲）がウイルスの伝染源になる可能性があります。感染したひこばえは葉身の淡緑色～黄白色の縞模様、葉先がこより状になって枯死（ゆうれい症状）し、穂が出すくむ等の病徴を示します。次年度、本田での発生を抑えるため、以下の対策に取り組みましょう。

◆収穫後の早めの耕起

ヒメトビウンカが発病株を吸汁することで、保毒虫となり次年度の発生源となります。水田の雑草やひこばえはヒメトビウンカの幼虫の越冬場所となります。**遅くとも年内**にすき込みを行いましょう。

◆冬季の畦畔除草

9月下旬から10月にかけて産卵・ふ化したヒメトビウンカの幼虫は、ひこばえや畦畔のイネ科雑草（スズメノカタビラ等）で越冬します。越冬場所の草刈りを行うことで幼虫の数を減らしましょう。



ゆうれい症状が発生したひこばえ

令和5年度

茨城県立農業大学校入学生募集



◆募集人数等

区分	学科名	募集人数	修業年限	専攻コース
農業部	農学科	40名	2年	普通作・露地野菜・果樹
	畜産学科	10名	2年	畜産
園芸部	園芸学科	30名	2年	施設野菜・花き
研究科		10名	2年	作物・園芸・畜産

◆願書受付・入学試験

試験区分	出願受付期間	試験日	選抜方法
推薦入試	令和4年10月3日(月)～令和4年10月21日(金)	令和4年11月1日(火)	小論文 口述試験(個別面接) 書類(調査書等)
一般 (農学・畜産・園芸)	前期	令和4年11月14日(月)～令和4年12月9日(金)	筆記試験 口述試験(個別面接) 書類(調査書等)
	後期	令和5年1月30日(月)～令和5年2月22日(水)	令和5年3月2日(木)
一般試験 研究科	令和4年11月14日(月)～令和4年12月9日(金)	令和4年12月16日(金)	筆記試験 口述試験(個別面接) 書類(調査書等)

◆授業料等

入学試験手数料(2,200円)、入学料(5,650円)、授業料(年額118,800円)、教材費他。コロナウイルス感染拡大防止の観点から、全寮制としている1年生の一部は、入寮せず通学している。

募集要項、出願書類の内訳、提出方法などの詳細な情報については、茨城県立農業大学校HPの「受験生の皆さまへ」から「令和5年度入学生募集案内」をご確認ください。

< 問い合わせ先 >

〒311-3116 茨城県東茨城郡茨城町長岡4070-186
茨城県立農業大学校 入試事務局 TEL: 029-292-0010

10月土壤診断実施日のお知らせ

10月5日(水)、19日(水)の2回の予定です

- ・個人の農家の方が対象です。
- ・受け付けは前日まで可能ですが**先着順**となりますので、お早めにお持ちください。電話等での**予約は行っておりません**。
- ・1回の診断で50点までの分析となります。超えた場合には次回の診断日となります。
- ・**1人あたり5点以内**の持ち込みでお願いします。

編集後記

先日、インターンシップに参加した大学生と意見交換をする機会がありました。業務や就職活動についてなど様々な話をし、有意義な時間を過ごせたと感じました。今回の交流が参加者の将来に繋がれば良いと思います。 山本